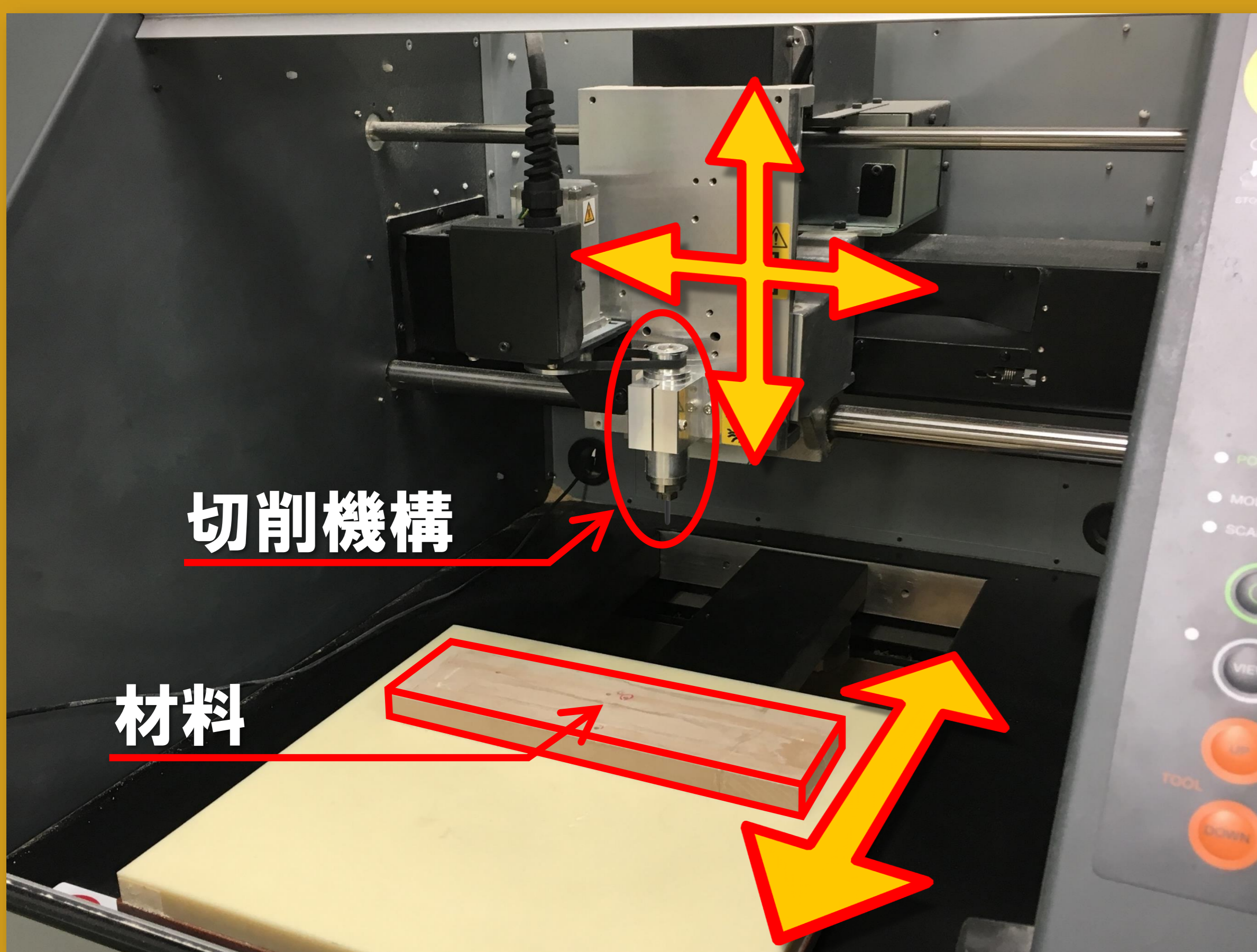


## 何ができるの？

材料を削って造形することができる。

CADやCGソフトで作成したモデルを手軽に立体出力できる。

## どうやって加工するの？



- ✓ モデル情報をPCからマシンへ転送
- ✓ 切削刃が回転
- ✓ 切削機構が上下左右に、材料を載せた台が前後にそれぞれ移動する。
- ✓ これらの動きが組合わされて3次元の動きをすることで不用部分を造形することができる。



加工部と切削刃(例)

機種名	MDX-40A
加工可能な材質	ケミカルウッドなどの樹脂、アクリル等
XYZ動作ストローク	305(X) × 305(Y) × 105mm(Z)
ワークテーブルサイズ	305 × 305mm
削り可能なワーク質量	4kg
動作速度	X,Y軸: 7~3,000mm/min Z軸: 7~1,800mm/min
切削刃回転数	4,500~15,000 rpm



どんなところで使われるの？

## 製品デザインの試作など

様々な製品のデザイン段階で実際に試作品を作ることによって、実際に手に触れることができ、画面表示だけでは分からないフィット感や操作感を実感しながら評価することができる。

どんな物が作れるの？



オリジナルの記念品



導入ゼミの作例



3DCADで設計（左）やスキャン（右）した3Dデータを両面加工により立体化

